

第9回 高校生国際シンポジウム



発表者と審査員の先生方の集合写真

発表者と審査員の先生方の集合写真(3日目)



宝山ホールにて(2日目)



いおワールド鹿児島水族館のジンベエザメ(1日目)

日時

2月20日(火)～2月22日(木)

場所

いおワールド鹿児島水族館(鹿児島県鹿児島市),宝山ホール(鹿児島県鹿児島市)

行程

20日(火)

10時30分 羽田空港発

12時30分 鹿児島空港着

15時30分 講義・実習いおワールド鹿児島水族館

21日(水)

10時00分 基調講演

10時40分 パネルディスカッション

13時00分 発表 及び審査(ポスター発表)

18時15分 交流会 研修会

22日(木)

9時30分 表彰式

11時00分 進路座談会

14時15分 優秀発表 及びグランプリ発表

16時00分 開会式

19時00分 鹿児島空港発

20時30分 羽田空港 解散

1日目

いおワールドかごしま水族館で、研究者の方からジンベエザメとハオリムシについて教えていただきました。



ジンベエザメ



サツマハオリムシ

この水族館では、「来場者の方々に本物のジンベエザメを実際に見ていただきたい!」

という思いと「絶滅危惧種の動物を安易に展示することは許されない」という思いの

2つを両立させる為に、

ジンベエザメの全長が水族館で飼える5.5 mを超えた時点で海へ帰す、

『かごしま方式』

を取ることにしたそうです。

自分たちの水族館の仕事は社会にどう貢献できるのか、を念頭にお仕事をされていた為、

普段の私達が英語の授業等で触れているSDGsの勉強が、将来どのように役立つのかが

分かった気がします。

2日目



発表直前の様子

2日目は発表日でした。

全国**114校**の書類審査を通過した高校生たちが集まりました。

発表形式にはスライド発表とポスター発表の2つがあり、
私達はポスター発表に参加しました。

審査は各分野のエキスパートの先生方(教授)にさせていただきます。

本職の先生方たちからの非常に鋭く的確な質問からも
大いに刺激を受けました。

交流会では他の発表者の高校生と自分たちの研究や将来について自由に語り合いました。

部活動で来ている人たちも沢山いた為、自分の研究分野への興味が非常に深い人たちと
交流することができました。

参加者は全員、自分の希望で参加している人たちだったので、校内発表とはまた違い、
傍聴者からの質問に対しても楽しそうに答えている人が多かったです。

3日目

3日目は表彰と進路座談会、表彰された方々による優秀発表がありました。入賞した作品はどれも完成度が高く、自分たちにはない発想で研究を進めていたものもたくさんあったので、非常に参考になりました。

進路座談会では、有名大学の教授や過去に当シンポジウムで受賞歴を持つ大学生など様々な分野のスペシャリストに、高校生が持つ学習や将来設計の悩みについて答えていただきました。

「英語を今勉強しておけば、将来何かをするときの仲間集めで海外まで視野を広げられるよ」というお言葉が特に印象に残っています。

最後に

今回このシンポジウムに参加したことで得られた一番の財産は、

- ・自分たちで1年間かけて作ってきた研究をきちんと精算できたこと
- ・テストを超えた学問そのものに興味を持っている人たちとの交流が持てたこと

だと思います。

お休みの日まで手厚く指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。

